



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」  
R.I. 会長 ロン D・バートン  
地区ガバナー 吉田 建二  
クラブテーマ 「参加し行動しよう」  
クラブ会長 藤掛 靖元



## 本日の卓話

### 「日記に学ぶ」

東京福生 RC 直前会長 地区社会奉仕委員会副委員長 石川酒造代表取締役社長 石川彌八郎 様

## 今後の卓話予定

2/19 地区大会  
2/26 「邦楽」 杵屋彌太郎 様

2014 年 2 月 12 日

第 1348 回例会

会長 藤掛 靖元  
幹事 伊石 佳高



## 年間100%出席

加藤 昭雄 君 6回 大塚 清君 8回  
斎藤 彰悟 君 6回 高木 祐輔 君 5回

## 前回 (2 / 3 1347 回例会) の記録

3クラブ合同例会のため、出席報告は後日掲載いたします

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <藤掛会長>

・東京上野ロータリークラブ、大滝会長様始め会員の皆様、30周年おめでとうございます。田中作治 RI 直前会長の講演、



「ロータリーに入り僕の人生は大きく変わった。世界平和を推進するのはロータリアンだ！」心の底からそう思える。この信念こそ RI 会長たる所以であると思

ました。昨年10月、浅草神社さんの境内にて、ローターアクトにも協力いただき被災地復興支援、復興市を開催いたしました。この記事がロータリーの友3月号に1ページに渡り掲載されます。是非ご覧ください。

## ニコニコボックス

<藤掛、伊石、立野、斎藤、永井、浜中、後上、内田、古谷、中村、小林(博)>

・3クラブ合同例会を祝して。

## 3 クラブ合同例会

## 「中内功のかばん持ち備忘録から—神戸・福岡・ホノルル・そして浅草」



(株)レコフ 代表取締役社長

恩 地 祥 光 様

わたくし昭和52年（1977年）にダイエーに入社し、4年後に中内さんの秘書になりました。2005年中内さんが亡くなるまで一緒に歩んできたわけでございます。

さて、中内さんとはどんな方だったのか。「戦後神戸から出て大きくなったんは、山口組とダイエーだけや」この中内さんのコメントはスケールが大きく、ユーモアがあって、正直で自分をさらけ出す。これが中内さんなんです。ダイエーの創業は神戸ではなく千林という大阪市内の下町でしたが全国チェーンという発想は神戸からです。「女と麻薬以外は何でも売った」というダイナミックなコメントもあったわけですが、日本の復興、近代化を担おうという夢とロマンを持っていたことの表れといえます。三越を抜いて小売業No.1になり、昭和55年には売上1兆円達成。そして、勲一等瑞宝章を天皇陛下からいただくまでに登りつめることになるわけです。

さて中内さんは、おじいさんが高知の出で「土佐のいごっそう」の血を引いているんです。改革、そして既存の勢力を打破して新しいものを作り出す、そういう強い気持ちが中内さんにはありました。

そこに「神戸のハイカラ」が加わります。神戸は港町。いろんな国の方々が行きかう町です。谷崎純一郎が名付け親の洋食屋「ハイウェイ」、中国人の経営する広東料理の「群愛飯店」など美味しい店もたくさんあります。加えて、中内さんの母校神戸三中は花森安治など多くの文化人を輩出しています。

そのような素地がありましたので、数々の名コピーを生み出されました。例えば「良い品をどんどん安く、より豊かな社会を」というダイエーのスロー

ガン。この「どんどん」という言葉に「継続性」とか「ボリューム感」が感じられる、これが「より豊かな社会を」につながるんだというわけです。

さて神戸から福岡へ。1993年にオープンした福岡ドーム。これは、日本で唯一、世界でも2つしかない開閉式ドームスタジアム。ほかに1000室規模のホテルや商業施設、また人工地盤工事もあわせると2000億円を超える巨大投資。ただ、完成するまでの間にいろんなドラマがありました。当時中内さんは、このドームを後世に残るものにしたかったため、磯崎新先生に設計をお願いし、その設計に基づいてゼネコンに建築費を出させるコンペにしました。この磯崎先生のドームは、形状は円筒形で古代ローマのコロシウムをイメージさせるものでした。そして開閉する屋根は、野球をするときには扇方に、アメリカンフットボールをするときには平行に、異なった開き方をする、「デュアル開閉式」という画期的なものでした。それで、竹中工務店などのスーパーゼネコンに加えて、前田建設工業のような準大手にも声をかけてコンペが始まったわけですが、軒並み1000億円超の見積りが出ました。しかし、前田建設が470億円という次元の違う低い金額で入札してきました。当時高齢だった前田会長の冥途の土産とのことです。もうこれは誰が考えても前田建設が落札すると思ったわけです。

ところが、そのときに事件が起きます。入札を仕切っていたダイエーのドーム会社の専務が、入札結果の公表前に前田建設が福岡で使っている下請け会社に内々にアプローチして、「お前のところを使ってやるから」ということで2億8千万円もの金をもらっていたんです。

そんなこととはつゆ知らず、中内さんが動き始めます。誰が考えても前田建設というのは凡人の考えることで、中内さんは究極の天邪鬼。こう考えたわけです。「前田建設は有名な会社で実績もある。しかし、ダイエーとしては今まで使ったことがない。やはりここは、長年取引のある竹中工務店の竹中会長に頼んでみよう。」ということで、当時リハビリで入院中の竹中錬一会長をたたき起こして「会長、すみませんが福岡の開閉式ドームですが、470億円でやってもらえませんかやろか。」と頼み込んだ。そうすると、その2日後に担当の中出専務が模型を持ってやってきた。「これで、470億円でやらしてもらいます。」中内さんはこの案を採用して、竹中マジョリティ・前田マイノリティのJVで取り組んでもらうことを決定した。JVとはいえ実質的には竹中工務店に決定したわけですから、下請けは竹中が手配することになりまして、お金をもらっていたドーム会社の専務は約束を守れなくなってしまった。し

ばらくして、その金を払っていた会社から中内さん宛に手紙が届きました。「お宅のドーム会社の専務に多額の金を払ったにもかかわらず、下請けに使ってもらえないとは何事だ。」と。

びっくりした中内さんは、その専務を呼び出して事情聴取を行いました。「どういうことだ！」と詰め寄った中内さんに対してその専務は「確かにもらいました。ただし、この金は福岡市長に〇〇、局長に〇〇、課長に〇〇、あとは住宅ローンを返しました。」と。その場が凍りつきました。51000坪の市有地をダイエー1社に払い下げたのには裏があったのかと。これはえらい事件だ。さあ、中内さんはどうするか。「全部明らかにする。経団連副会長も辞任する。もともと何もない裸一貫から始めた事業や。沢庵の尻尾齧ってでも生きていけるわ。」と言われたんです。これぞコンプライアンスの手本。翌日専務から「昨日の話は全部ウソでした。すべて株ですってしまいました。」と。その後調べて見ましたら、1989年の史上最高値から一気に株価は急落し、信用買いで取引していた専務は住宅ローンを返した以外はなくなってしまっていたんです。ホークス球団と福岡ドームは今では福岡の財産となっています。

もうひとつ、ハワイのアラモアナセンター。この買収の後半の部分はわたしが責任者としてかかわらせていただきました。年間4200万人が訪れる、世界でも稀有なショッピングセンターを神戸の震災直後に取得しました。

さて、いよいよ浅草です。なぜ中内さんが浅草にのめり込んだのか考えてみたんですが、やはり中内さんが好きな「文化」「復興」というキーワードがその理由じゃないかと思います。浅草ではいろんなことをされました。HUBやビッグボーイ出店。花やしきの高井さんや、おかみさん会の富永さんとの関わり。そして、神戸に「中内学校」という二世経営者の集まりがあり、浅草でやったことがありまして、場所はおそらく大瀧会長の「瓢庵」だったと思うんですが、そのときに出てきた幫間の悠玄亭玉介師匠の芸があまりに素晴らしく、いまだに語り草になっています。あまり多くをしゃべりませんが、その存在そのものが芸になっている。扇子を開いたり閉じたりしながらそこに書いた卑猥な絵を動画のごとく見せるのもびっくりしました。ほかにも振袖学院設立、横綱旭富士後援会の会長。そして仲見世で揚げまんじゅう屋を開いたり、夏の朝顔市・ほおずき市、毎回出かけておられました。

いずれにしても、中内さんにとって一番リラックスしたのは、中内学校と浅草だったと思います。